



西田 恭子さん直伝

「リフォーム」で快適わが家

VOL.12

2階を改装して
暮らしを変え



**2階部分にLDKを移し
暮らしを豊かに**

マンション住まいのよさは、平面で暮らせる快適性にありますが、2階建て住宅のよさは、立体的な空間を活用できる点にあります。ところが、その長所をうまく使いきれていない家庭が多いようです。眺望、採光、温度など2階部分の絶対的な居心地のよさを有効に活用するため、2階の使い方をもう一度きちんと考えてみませんか？ 2階を変えれば、暮らしは驚くほど快適にかわります。

眺めがよく、自然光がふんだんに注がれ、温かい。この3拍子そろった2階部分の快適性は、1階よりも格段に高いものがあります。せつかくの2階建てならば、この長所をうまく活用したいものです。

最近では、新築時にLDKを2階に設ける家が多くなりました。また、リフォーム時にLDKを2階に移すケースも増えていきます。家族がくつろぐ大切なスペースを最も快適で眺めのよい場所に移動することは、暮らしを豊かに演出する選択肢の一つです。ある海辺に建つお宅で

**2階の床を取り
1階の快適性を高める**

1階の快適性を高めるために、2階を改装する方法もあります。2階の床の一部を取り、2階の日差しを1階に引き込む方法も、その一つです。

みなさん、2階の床を取るという発想が意外となく、「2階のせいで1階が暗いのは仕方がない」とあきらめている人も多いようです。でも、そんな思いを抱えたまま暮らしても、家へ

の不満は募るばかりです。もし、スペースに余裕があるならば、2階の一部屋を削って吹き抜けつくる方法が考えられます。また1階の天井をトップライト風にほんの一部切り抜くだけでも、2階の光がシャワーのように1階に降り注ぎます。

しかも天井の一部分が開くだけで視線が抜け、空間がぐっと広やかに感じられます。この立体的な空間を活用して、広やかさを演出できるのも、2階建て住居のよさといえるでしょう。

ぜひ、2階の活用法をもう一度見直してください。今までの規定概念では成しえなかった心豊かで快適な暮らしを築けるでしょう。



光が降り注ぐサロンのようなLDKに
南側の家にさえざられ、1階の日当たりが悪かった。そこで、1階の天井を細長く抜き、装飾の梁をポイントに、1階に光が満ちるようになった。



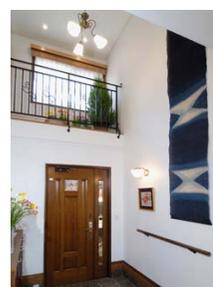
リゾート地を思わせる開放的なLDK
2世帯住宅の2階部分。以前は海を臨む南西側がクローゼットになり、窓がなかった。リフォームにより、積年の不満を一掃。海の眺めを取り入れた明るく開放的なLDKに生まれかわった。



海を臨むルーフバルコニー
1階の屋根をルーフバルコニーに改装。晴れた日は遠くの眺望まで楽しめ、まさに第2のリビングだ。



**2階の1室を吹き抜けにし、
玄関を明るく**
玄関上にあった2階の和室を取り払い、吹き抜けのある玄関に改装。1～2階に一体感がでて、暗かった玄関が開放的な空間に。



**2階に浴室を移し、
美しい眺めとともに入浴**
「海辺の景色を眺めながらお風呂に入りたい」というご主人の希望により、2階の眺望のよい位置に浴室を移動した。

今回で「リフォーム」で快適わが家は最終回です。次回から新連載「ワインで「ちょっと」幸せ気分」をお送りします。お楽しみに！



【三井のリフォーム住生活研究所】所長
西田 恭子 (にしだ きょうこ) さん
住宅リフォーム設計を手がけ25年。その経験からリフォームの情報収集・分析をし発信している。一級建築士

三井のリフォーム
住生活研究所
Life Style Labo

西田さんが所長を務める「三井のリフォーム 住生活研究所」は、2007年10月にオープンしたリフォーム業界初のシンクタンクです。研究所のスタッフ全員が女性のリフォームプランナーで、累計10万にものぼるリフォーム実績をもとに、「リフォームカレッジ」でさまざまな情報発信を行なっています。またリフォームに関わる書籍も「減築」リフォームでゆうゆう快適生活」など多数発行している。

東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー7階「リモデル東京」内
TEL:0120-312-122
営業時間：10:00～17:00（水曜・日曜・祝日定休、年末年始休業）
www.lifestyle-labo.com